

## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 ENEOSホールディングス株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 5020 URL <https://www.hd.eneos.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 猛  
 問合せ先責任者 (役職名) インベスター・リレーションズ部 (氏名) 江口 小百合 TEL 03-6257-7075  
 IRグループマネージャー  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満は四捨五入して表示しています)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,218,320	△9.5	94,005	△71.1	87,923	△73.5	45,802	△79.3	114,947	△62.8
2023年3月期第1四半期	3,555,106	59.8	325,349	100.9	331,970	111.1	221,355	126.7	309,330	147.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	15.19	15.16
2023年3月期第1四半期	69.31	69.14

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	10,305,679	3,349,383	2,927,975	28.4
2023年3月期	9,954,517	3,287,578	2,859,832	28.7

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,400,000	△10.8	340,000	20.9	310,000	20.4	180,000	25.2	59.71

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

通期の連結業績予想は、前回(5月11日)発表を据え置いています。

上記の「基本的1株当たり当期利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2023年6月30日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しています。

在庫影響(\*)を除いた利益相当額(予想)は、以下のとおりです。

		営業利益	(対前期増減率)
在庫影響を除いた利益相当額(通期)	2024年3月期 予想	340,000百万円	(37.9%)
	[<参考> 2023年3月期 実績	246,517百万円	]

(\*) 総平均法及び簿価切下げによる棚卸資産の評価が売上原価に与える影響

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	3,032,850,649株	2023年3月期	3,032,850,649株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	18,320,254株	2023年3月期	18,280,020株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	3,014,561,118株	2023年3月期1Q	3,193,862,980株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述について）

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況又はエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
- (2) 法律の改正や規制の強化
- (3) 訴訟等のリスク など

が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

※ 対前期(対前年同四半期)増減率について、当期(当四半期)・前期(前年同四半期)の一方もしくは両方がマイナスとなる場合や、増減率が1,000%以上となる場合は「－」を記載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催します。この説明会で使用する資料等につきましては、決算発表と同時に当社ウェブサイトにて掲載します。

・2023年8月10日（木）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## [全般]

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)においては、世界的な物価上昇を背景とした米欧の金融引き締めや、中国におけるゼロコロナ政策緩和後の景気回復の遅れ等を受け、世界経済の回復ペースは鈍化しています。

一方、わが国経済については、物価上昇による家計や企業への影響や世界経済の下振れ懸念はあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う行動制限の解除を受け、経済社会活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復が続きました。

同期間における原油価格(ドバイ原油)は、期初は1バーレル当たり84ドルから始まり、期末には77ドル、期平均では前年同期比30ドル安の78ドルとなりました。各国の金融引き締めによる世界的な景気後退懸念等の影響を受け下落基調であったものの、OPECプラスによる協調減産の合意が下支えし、80ドル前後で推移しました。

銅の国際価格(LME〔ロンドン金属取引所〕価格)は、期初は1ポンド当たり407セントから始まり、期末には372セント、期平均では前年同期比47セント安の385セントとなりました。世界的な景気後退懸念や中国の景気回復の遅れ等の影響を受けて、5月に350セント台後半まで下落し、その後は380セント前後で推移しています。

円の対米ドル相場は、日米の金利差拡大を背景に円安が進行し、期平均では前年同期比7円円安の137円となりました。

こうした状況のもと、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、原油価格の下落に伴う石油製品販売価格の下落や金属価格の下落等により、前年同期比9.5%減の3兆2,183億円となりました。また、営業利益は、前年同期比2,313億円減益の940億円となりました。在庫影響(総平均法及び簿価切下げによる棚卸資産の評価が売上原価に与える影響)を除いた営業利益相当額は、前年同期比77億円増益の1,249億円となりました。

金融収益と金融費用の純額61億円を差し引いた結果、税引前四半期利益は、前年同期比2,441億円減益の879億円となり、法人所得税費用362億円を差し引いた四半期利益は、前年同期比1,831億円減益の517億円となりました。

なお、四半期利益の内訳は、親会社の所有者に帰属する四半期利益が458億円、非支配持分に帰属する四半期利益が59億円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりです。

## [エネルギーセグメント]

エネルギーセグメントの石油製品については、自動車の低燃費化を主要因とする構造的な国内石油製品需要の減少や、輸出市況の下落を受けて輸出数量が減少したことにより、販売数量は3.4%減となりました。

一方、石油化学製品は、中国における新型コロナウイルス感染症の影響緩和により、パラキレン、ベンゼンともに市況は前年同期に比べ良化しました。

こうした状況のもと、エネルギーセグメントの当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比10.3%減の2兆6,811億円となりました。営業利益は前年同期比2,282億円減益の192億円となりました。これには原油価格の下落を主因とする在庫影響による会計上の損失が309億円

(前年同期は2,081億円の利益)含まれており、在庫影響を除いた営業利益相当額は、前年同期比108億円増益の501億円となりました。

## [石油・天然ガス開発セグメント]

原油及び天然ガスの生産量については、一部プロジェクトにおける減退及び定期修繕に伴う操業停止影響等により、前年同期に比べ減少しました。また、原油及び天然ガスの販売価格は、原油市況を反映し前年同期に比べ下落しました。

こうした状況のもと、石油・天然ガス開発セグメントの当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比9.2%減の442億円、営業利益は前年同期比20億円減益の259億円となりました。

## [金属セグメント]

半導体材料事業については、各製品の販売量は、半導体市場における民生用電子デバイスの需要減少、それに伴う各サプライチェーンにおける在庫調整を主因に、概ね前年同期を下回り、減益となりました。

情報通信材料事業については、各製品の販売量は、昨年の中国のゼロコロナ政策等による景気減速の長期化、各サプライチェーンにおける在庫調整を主因に、前年同期を下回り、減益となりました。

基礎材料事業については、カセロネス銅鉱山の売却に伴う当四半期の利益剥落があったものの、同鉱山の売却に関連して生じる為替の評価益を主因に増益となりました。なお、SCM Minera Lumina Copper Chileの株式の51%について、Lundin Mining Corporationへの譲渡は、7月13日付で完了しました。

こうした状況のもと、金属セグメントの当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比4.1%減の3,934億円、営業利益は前年同期比10億円減益の401億円となりました。

## [その他]

その他の事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比4.5%減の1,116億円、営業利益は前年同期比11億円減益の96億円となりました。

建設事業については、公共投資は底堅く、民間設備投資に持ち直しの動きが見られたものの、原材料価格の上昇、為替変動、労働需給のひっ迫等、依然として不透明な状況が継続しました。このような事業環境下、技術の優位性を活かした受注活動、原材料価格の上昇に対応したアスファルト合材の適正価格での販売、生産性の向上及びコスト削減の推進により、競争力の強化に努めました。

上記各セグメント別の売上高には、セグメント間の内部売上高が合計120億円（前年同期は112億円）含まれています。

## (2) 財政状態に関する説明

- ① 資産 当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末比3,512億円増加の10兆3,057億円となりました。
- ② 負債 当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、棚卸資産の増加に伴う運転資金の増加等により、前連結会計年度末比2,894億円増加の6兆9,563億円となりました。有利子負債残高は、前連結会計年度末比2,601億円増加の3兆3,695億円となり、また、手元資金を控除したネット有利子負債は1,476億円増加の2兆9,077億円となりました。なお、有利子負債にはリース負債を含めていません。
- ③ 資本 当第1四半期連結会計期間末における資本合計は、配当金の支払いによる減少等があったものの、四半期利益の計上等により、前連結会計年度末比618億円増加の3兆3,494億円となりました。

なお、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末比0.3ポイント減少し28.4%、1株当たり親会社の所有者帰属持分は前連結会計年度末比22.62円増加の971.29円、ネットD/Eレシオ（ネット・デット・エクイティ・レシオ）は前連結会計年度末比0.03ポイント悪化し、0.87倍（ハイブリッド債資本性調整前）となりました。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	311,517	417,758
営業債権及びその他の債権	1,609,526	1,451,430
棚卸資産	2,153,569	2,272,280
その他の金融資産	102,524	176,698
その他の流動資産	444,056	487,266
小計	4,621,192	4,805,432
売却目的保有資産	266,516	308,715
流動資産合計	4,887,708	5,114,147
非流動資産		
有形固定資産	3,431,358	3,487,553
のれん	256,457	256,653
無形資産	516,944	515,808
持分法で会計処理されている投資	431,948	467,973
その他の金融資産	332,437	362,796
その他の非流動資産	30,367	30,353
繰延税金資産	67,298	70,396
非流動資産合計	5,066,809	5,191,532
資産合計	9,954,517	10,305,679

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債</b>		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,852,664	1,758,010
社債及び借入金	1,060,002	1,309,539
未払法人所得税	43,514	29,123
リース負債	67,923	70,416
その他の金融負債	28,592	44,351
引当金	16,159	15,990
その他の流動負債	311,277	410,270
小計	3,380,131	3,637,699
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	87,590	92,375
流動負債合計	3,467,721	3,730,074
非流動負債		
社債及び借入金	2,049,399	2,059,989
退職給付に係る負債	209,405	199,092
リース負債	383,210	377,972
その他の金融負債	37,750	44,747
引当金	114,239	121,119
その他の非流動負債	47,095	51,309
繰延税金負債	358,120	371,994
非流動負債合計	3,199,218	3,226,222
負債合計	6,666,939	6,956,296
<b>資本</b>		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	932,432	932,508
利益剰余金	1,635,585	1,654,652
自己株式	△8,311	△8,321
その他の資本の構成要素	200,126	249,136
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,859,832	2,927,975
非支配持分	427,746	421,408
資本合計	3,287,578	3,349,383
負債及び資本合計	9,954,517	10,305,679

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,555,106	3,218,320
売上原価	3,033,738	2,915,308
売上総利益	521,368	303,012
販売費及び一般管理費	237,479	232,855
持分法による投資利益	33,428	11,468
その他の収益	30,097	32,508
その他の費用	22,065	20,128
営業利益	325,349	94,005
金融収益	17,778	5,680
金融費用	11,157	11,762
税引前四半期利益	331,970	87,923
法人所得税費用	97,196	36,238
四半期利益	234,774	51,685
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	221,355	45,802
非支配持分	13,419	5,883
四半期利益	234,774	51,685
		(単位：円)
基本的1株当たり四半期利益	69.31	15.19
希薄化後1株当たり四半期利益	69.14	15.16

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	234,774	51,685
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△1,490	14,120
確定給付制度の再測定	△2,646	6,279
持分法適用会社におけるその他の包括利益	1,282	425
合計	△2,854	20,824
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	56,992	43,058
キャッシュ・フロー・ヘッジ	1,331	△14,553
持分法適用会社におけるその他の包括利益	19,087	13,933
合計	77,410	42,438
その他の包括利益合計	74,556	63,262
四半期包括利益	309,330	114,947
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	280,910	96,209
非支配持分	28,420	18,738
四半期包括利益	309,330	114,947

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2022年4月1日残高	100,000	1,049,093	1,517,733	△8,557	142,660	△21,982
四半期利益	—	—	221,355	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	161	887
四半期包括利益合計	—	—	221,355	—	161	887
自己株式の取得	—	—	—	△29,502	—	—
自己株式の処分	—	△139	—	139	—	—
剰余金の配当	—	—	△35,370	—	—	—
株式報酬取引	—	50	—	—	—	—
非支配株主との資本取引等	—	△17,043	—	—	△9,791	—
利益剰余金への振替	—	—	△2,430	—	△223	—
非金融資産への振替	—	—	—	—	—	7,368
企業結合による変動	—	—	—	—	—	—
その他の増減	—	181	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△16,951	△37,800	△29,363	△10,014	7,368
2022年6月30日残高	100,000	1,032,142	1,701,288	△37,920	132,807	△13,727

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の為替換算差額	確定給付制度の再測定	合計			
2022年4月1日残高	81,850	—	202,528	2,860,797	373,282	3,234,079
四半期利益	—	—	—	221,355	13,419	234,774
その他の包括利益	61,160	△2,653	59,555	59,555	15,001	74,556
四半期包括利益合計	61,160	△2,653	59,555	280,910	28,420	309,330
自己株式の取得	—	—	—	△29,502	—	△29,502
自己株式の処分	—	—	—	△0	—	△0
剰余金の配当	—	—	—	△35,370	△10,721	△46,091
株式報酬取引	—	—	—	50	—	50
非支配株主との資本取引等	—	—	△9,791	△26,834	△6,549	△33,383
利益剰余金への振替	—	2,653	2,430	—	—	—
非金融資産への振替	—	—	7,368	7,368	3,897	11,265
企業結合による変動	—	—	—	—	2,433	2,433
その他の増減	—	—	—	181	△296	△115
所有者との取引額合計	—	2,653	7	△84,107	△11,236	△95,343
2022年6月30日残高	143,010	—	262,090	3,057,600	390,466	3,448,066

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2023年4月1日残高	100,000	932,432	1,635,585	△8,311	59,597	△411
四半期利益	—	—	45,802	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	9,869	△10,664
四半期包括利益合計	—	—	45,802	—	9,869	△10,664
自己株式の取得	—	—	—	△10	—	—
自己株式の処分	—	△0	—	0	—	—
剰余金の配当	—	—	△33,208	—	—	—
株式報酬取引	—	175	—	—	—	—
非支配株主との資本取引等	—	695	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	6,473	—	△183	—
非金融資産への振替	—	—	—	—	—	5,076
企業結合による変動	—	—	—	—	—	—
その他の増減	—	△794	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	76	△26,735	△10	△183	5,076
2023年6月30日残高	100,000	932,508	1,654,652	△8,321	69,283	△5,999

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の為替換算差額	確定給付制度の再測定	合計			
2023年4月1日残高	140,940	—	200,126	2,859,832	427,746	3,287,578
四半期利益	—	—	—	45,802	5,883	51,685
その他の包括利益	44,912	6,290	50,407	50,407	12,855	63,262
四半期包括利益合計	44,912	6,290	50,407	96,209	18,738	114,947
自己株式の取得	—	—	—	△10	—	△10
自己株式の処分	—	—	—	0	—	0
剰余金の配当	—	—	—	△33,208	△27,670	△60,878
株式報酬取引	—	—	—	175	—	175
非支配株主との資本取引等	—	—	—	695	415	1,110
利益剰余金への振替	—	△6,290	△6,473	—	—	—
非金融資産への振替	—	—	5,076	5,076	3,140	8,216
企業結合による変動	—	—	—	—	978	978
その他の増減	—	—	—	△794	△1,939	△2,733
所有者との取引額合計	—	△6,290	△1,397	△28,066	△25,076	△53,142
2023年6月30日残高	185,852	—	249,136	2,927,975	421,408	3,349,383

## (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## I. 前第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失及びその他の項目

(単位:百万円)

	エネルギー	石油・天然 ガス開発	金属	報告セグメント 合計	その他	調整額 (注4)	連結
売上高							
外部顧客への売上高 (注1)	2,989,490	48,616	410,001	3,448,107	106,999	—	3,555,106
セグメント間の内部売上高 又は振替高(注2)	1,038	38	269	1,345	9,827	△11,172	—
計	2,990,528	48,654	410,270	3,449,452	116,826	△11,172	3,555,106
セグメント利益又は損失(△) (注3)	247,406	27,888	41,142	316,436	10,686	△1,773	325,349
金融収益							17,778
金融費用							11,157
税引前四半期利益							331,970

- (注) 1. 外部顧客への売上高には、顧客との契約から生じた収益及びその他の源泉から生じた収益が含まれています。  
2. 報告セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいています。  
3. セグメント利益又は損失は、要約四半期連結損益計算書における営業利益で表示しています。  
4. セグメント利益又は損失の調整額△1,773百万円には、各報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社収益・全社費用の純額211百万円が含まれています。

## II. 当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失及びその他の項目

(単位:百万円)

	エネルギー	石油・天然 ガス開発	金属	報告セグメント 合計	その他	調整額 (注4)	連結
売上高							
外部顧客への売上高 (注1)	2,680,150	44,180	393,186	3,117,516	100,804	—	3,218,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高(注2)	997	58	200	1,255	10,772	△12,027	—
計	2,681,147	44,238	393,386	3,118,771	111,576	△12,027	3,218,320
セグメント利益又は損失(△) (注3)	19,174	25,855	40,077	85,106	9,629	△730	94,005
金融収益							5,680
金融費用							11,762
税引前四半期利益							87,923

- (注) 1. 外部顧客への売上高には、顧客との契約から生じた収益及びその他の源泉から生じた収益が含まれています。  
2. 報告セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいています。  
3. セグメント利益又は損失は、要約四半期連結損益計算書における営業利益で表示しています。  
4. セグメント利益又は損失の調整額△730百万円には、各報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社収益・全社費用の純額△842百万円が含まれています。